

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題5

【訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

港区を訪れる人が増え、まちがにぎわい、地域経済が活発化している。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- ・区内の人口
平成22年国勢調査: 84,947人 平成27年国勢調査: 82,035人 平成29年12月推計人口: 81,018人
- ・区内の年間商品販売額
平成3年度: 360,225百万円 平成19年度: 275,910百万円 平成24年度: 235,389百万円 平成26年度: 279,217百万円
- ・区内の工業製品出荷額
昭和63年度: 263,454百万円 平成20年度: 82,517百万円 平成26年度: 63,713百万円
(事業所統計調査等より)
- ・事業所数
平成21年 ①サービス業: 1,430 ②卸売・小売・飲食業: 1,235 ③製造業: 654
平成24年 ①サービス業: 1,282 ②卸売・小売・飲食業: 1,085 ③製造業: 605
平成26年 ①サービス業: 1,251 ②卸売・小売・飲食業: 1,065 ③製造業: 567
- ・築港の観光資源
赤レンガ倉庫、レトロビル、築港高野山、
港住吉神社、海遊館、マーケットプレース、
天保山岸壁(クルーズ客船)、
中央突堤のダイヤモンドポイント(夕陽)
- ・築港地区の人口
平成22年国勢調査: 6,620人 平成27年国勢調査: 6,304人 平成29年9月住民基本台帳人口: 6,000人
- ・地下鉄大阪港駅の降車人数
平成24年度(平成24年11月13日調査): 8,713人 平成25年度(平成25年11月19日調査): 9,605人
平成26年度(平成26年11月11日調査): 9,452人 平成27年度(平成27年11月17日調査): 10,107人
平成28年度(平成28年11月8日調査): 10,078人
- ・まちづくりに活用できる資源・資産
弁天駅前土地区画整理記念事業(平成33年度完成予定)
市岡商業高校跡地、JR臨港(貨物)線跡地など

計
画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・平成29年12月の推計人口が平成22年国勢調査時より3,900人以上減少しており、港区が住みやすいまちであると感じられる情報の発信が不十分である。
- ・区内の人口減少は続いており、それに伴い小売店の販売額も減少するなど、まちのにぎわいが縮小している。
- ・港区にはこれまで卸売・小売業の事業所や飲食店が多く、準工業地域にはものづくり企業が多数立地していたが、近年、マンションや住宅建設が進む中、住工混在地域が増え、後継者難の零細企業が多いなど、商工業の経営環境が厳しい状況となり経営基盤が脆弱化している。
- ・築港地区は、海遊館などの近代的なアミューズメント施設のほか、歴史・文化などの資源が豊富に存在するものの、これらの魅力が十分に活かせておらず、地区の人口減少も顕著であることから、まちの衰退が進んでいる。
- ・区内には、市岡商業高校跡地、JR臨港(貨物)線跡地など、まちづくりに活用できる資源・資産があるが、これまで主に関係局においてその活用や処分の検討が進められ、まちづくりの観点からの有効な活用策の検討は行われてこなかった。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・港区が住みやすいまちであると感じられる魅力ある情報を発信し、まちの活性化につなげる必要がある。
- ・港区の魅力ある地域資源を広く周知活用しながら、地域、商店、企業等に対してビジネス支援情報を提供するとともに事業者間の出会いの場の提供やマッチングをサポートしビジネス機会の創出につなげる必要がある。
- ・ニュービジネス、ベンチャー企業などの次世代を担う産業の創出支援のため、企業、商工団体等との公民連携の強化を図る必要がある。
- ・大阪の集客観光拠点の重点エリアに位置づけられている築港・天保山エリアにおいて、豊富な観光資源などを活かして、まちづくりの視点からにぎわい創出や子育て世代の居住促進など地域の活性化を図っていく必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自
己
評
価

めざす成果及び戦略 5-1 【地域資源を活かしたまちの活性化】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	区内の商工業者等が地域資源を活かしながら事業活動を行い、まちが活性化している。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 商店街等が連携してにぎわいイベントや個性ある取組を行うことでまちの活性化につながっていると感じる区民の割合 28年度:43.3%→平成31年度:60%以上	・特色やオンリーワンの技術を持つ企業や商店の紹介など区内の魅力ある事業者の紹介により、まちの魅力発信を行う。 ・事業連携によるビジネスチャンスを広げるため、区内外の商工業者間の交流機会を提供する。 ・地域や事業者等との連携による地域資源を活かした商店街の取組を支援する。 ・「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の地域資源をベースにしたオリジナルな商品「みなトクモン」が、事業者利益につながるよう公民連携で販売力を強化する。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	A:順調 B:順調でない		
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組5-1-1 【商工業者のビジネス操業環境の整備】

		28決算額	- 円	29予算額	- 円	30予算額	1,453千円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)					
	港区における企業と商工団体、行政等による公民連携を強化し、それぞれの強みを活かしてビジネス機会の創出、次世代を担う人材の育成を支援することで、産業振興を図りまちの活性化をめざす。 ・企業、商工団体、行政等の連携を強化するスキーム構築 ・中長期的な次世代育成支援事業(企業のキャリア教育プログラム開発) ・研究開発型ベンチャーと町工場等との連携促進支援 ・大正・港ものづくり事業実行委員会事業(オープンファクトリー、修学旅行生の工場見学等への参画) ・商工会議所との連携事業(ものづくり加工ネットワーク交流会等) ・専門家と連携した空家リノベーションによる新規事業者誘致	中長期的な次世代育成支援事業で連携した事業者数:3件以上 【撤退基準】 中長期的な次世代育成支援事業で連携した事業者数が3件未満であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 <29年度> ・大正・港ものづくり事業実行委員会事業の実施(オープンファクトリー、修学旅行生の工場見学、ものづくりフェスタへの参画等) ・(一社)港産業会、青年部会、大阪商工会議所との連携事業(ビジネス講演会開催)の実施 ・企業の地域貢献活動への参画促進(工場見学、こども110番の家、高齢者見守り 防災サポーター 清掃活動等) ・大阪商工会議所西支部と企業プレゼンテーション交流会共催					

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)					

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須						
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須						
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成							
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)						

具体的取組5-1-2

【港区の魅力発掘・創出】

28決算額 746千円 29予算額 1,369千円 30予算額 1,057千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<p>「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の魅力をモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を側面的に支援し、開発された商品等を港区の名物「みなトクモン」として積極的に広報・周知することにより、「みなトクモン」を通じて区民の「わがまち」への愛着を醸成し、まちの魅力を共有することで、「住んで誇りに思えるまち」をめざす。また、商品としての魅力をアピールして地域経済の活性化をめざす。</p> <p>「みなトクモン」開発に関心を持つ事業者等を対象とした「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：年4回以上 「みなトクモン」開発を促進するため みなトクモン募集及び「港区魅力発掘・創出事業の取組み」紹介リーフレットを作成 「みなトクモン」に関する事業者等の取組に関する情報発信：随時</p>	<p>「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度：50%以上 「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数（5品）【撤退基準】 「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度が前年度以下であれば事業を再構築する。 「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数が3つ以下であれば事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p><27年度> ・みなトクモンのたまごを使った料理コンテスト実施（平成27年6月～9月 35作品応募 4作品を選定し、特別みなトクモンに認定） ・「みなトクモン」認定 25社 34品 ・「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度：41.1%</p> <p><28年度> ・みなトクモン広報ツールの充実（みなトクモンのアプリ、作り手紹介、カードなど） ・「みなトクモン」認定 29社 43品 ・みなトクモンに関する情報発信 ツイッター100回、フェイスブック100回、区HP13回 ・「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：3回</p> <p><29年度>（平成29年12月末現在） ・「みなトクモン」認定 28社 42品 ・みなトクモンに関する情報発信 ツイッター45回、フェイスブック45回、区HP11回 ・「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：2回</p>

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)</p>	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>業績目標の達成状況</p> <p>①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)</p>	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須

具体的取組5-1-3

【地域や事業者等と連携した商店街による取組の支援】

		28決算額	- 円	29予算額	- 円	30予算額	- 円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	区役所が持つネットワークや情報発信力を活用して、地域や事業者等との連携による地域資源を活かした商店街の取組を支援する。 ・地域や事業者等と連携した商店街による取組に関する情報発信：随時 ・地域、事業者等と商店街との連携支援：随時	地域や事業者等と連携した商店街による取組の件数：3件 【撤退基準】 地域や事業者等と連携した商店街による取組の件数が0件以下であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 <27年度> ・繁栄商店街で開催された「繁栄ワイワイ市場」の情報発信 <28年度> ・八幡屋商店街開催「ヤハタヤバル」繁栄商店街開催「繁栄ワイワイ市場」の情報発信、みなトクモン認定事業者の出店支援、商店街と地域や学校との連携支援、大阪市ボランティア活動振興基金の活用コーディネート等 <29年度>（平成29年12月末現在） ・八幡屋商店街開催「ヤハタヤバル」繁栄商店街開催「繁栄ワイワイ市場」夕凧中央商店会・食鮮館カーム開催「夕凧にぎわい祭り」の情報発信、みなトクモン認定事業者の出店支援等					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成						
戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)						
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)						

めざす成果及び戦略 5-2 【まちの魅力の発信】

計画	めざす状態<概ね3~5年間で念頭に設定> ・住みたいまちとしての魅力がわかりやすく一体的に発信されている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・交通の利便性や豊かな歴史・文化資源、港区が取組む区民サービスの向上に向けたさまざまな施策など、港区に住む魅力について、積極的に情報発信する。 ・特色やオンリーワンの技術を持つ企業や商店の紹介など区内の魅力ある事業者の紹介により、まちの魅力発信を行う。 ・「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の地域資源をベースにしたオリジナルな商品「みなトクモン」を、創出する取組を積極的に広報・周知することにより、まちの魅力を発信し、区民の「わがまち」への愛着を高める。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ○地域資源を活かした商工業者の事業活動がまちの活性化につながっていると感じる区民の割合 28年度:43.3%→31年度60%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組5-2-1 【港区に住む魅力の発信】

		28決算額	- 円	29予算額	- 円	30予算額	- 円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)					
	交通の利便性や豊かな歴史・文化資源、港区が取組む区民サービスの向上に向けたさまざまな施策など、港区に住む魅力について、積極的に情報発信する。 ・マスコミ等への情報提供:10回	マスコミ等による情報発信:10回 【撤退基準】 マスコミ等による情報発信が5回以下であれば事業を再構築する。 前年度までの実績 マスコミ等による情報発信回数 27年度:9回 28年度:10回 29年度:28回(12月末)					

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組5-2-2

【港区の魅力発掘・創出】【再掲 具体的取組5-1-2】

28決算額 746千円 29予算額 1,369千円 30予算額 1,057千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<p>「夕陽」や「ひまわり」、「あなご」など港区の魅力をモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を側面的に支援し、開発された商品等を港区の名物「みなトクモン」として積極的に広報・周知することにより、「みなトクモン」を通じて区民の「わがまち」への愛着を醸成し、まちの魅力を共有することで、「住んで誇りに思えるまち」をめざす。また、商品としての魅力をアピールして地域経済の活性化をめざす。</p> <p>「みなトクモン」開発に関心を持つ事業者等を対象とした「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：年4回以上 「みなトクモン」開発を促進するため みなトクモン募集及び「港区魅力発掘・創出事業の取組み」紹介リーフレットを作成 「みなトクモン」に関する事業者等の取組に関する情報発信：随時</p>	<p>「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度：50%以上 「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数（5品） 【撤退基準】 「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度が前年度以下であれば事業を再構築する。 「みなトクモンのたまご」を活用して創出が見込まれる商品等の数が3つ以下であれば事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p><27年度> ・みなトクモンのたまごを使った料理コンテスト実施（平成27年6月～9月） 35作品応募 4作品を選定し、特別みなトクモンに認定 ・「みなトクモン」認定 25社 34品 ・「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度：41.1% <28年度> ・みなトクモン広報ツールの充実（みなトクモンのアプリ、作り手紹介、カードなど） ・「みなトクモン」認定 29社 43品 ・みなトクモンに関する情報発信 ツイッター100回、フェイスブック100回、区HP13回 ・「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：3回 <29年度>（平成29年12月末現在） ・「みなトクモン」認定 28社 42品 ・みなトクモンに関する情報発信 ツイッター45回、フェイスブック45回、区HP911回 ・「みなトクモン発掘レクチャー」の開催：2回</p>

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)</p>	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>業績目標の達成状況</p> <p>①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)</p>	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須

めざす成果及び戦略 5-3 【築港地区のにぎわいづくり】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定> ・公民連携によるまちづくりが進み、まちが活性化している。	戦略<中期的な取組の方向性> ・公民連携の仕組みを活用しながら、まちづくりの視点からソフト・ハード両面の環境整備を進め、当エリアの魅力ある店舗の効果的な情報発信や遊休物件を活用したリノベーション事業により、多様な主体を当エリアに引きつけ、様々な魅力ある活動の創出を通じて、にぎわいの創出や子育て世代の居住促進を図り、地域の活性化をめざす
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ※重点目標 ○築港・天保山エリアに魅力を感じる区民の割合 28年度：78.5%→31年度：80%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
	A：順調 B：順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない	

具体的取組5-3-1 【「築港・天保山地区まちづくり計画」の推進】

28決算額 4,317千円 29予算額 -円 30予算額 565千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	副市長をリーダーとする「築港・天保山まちづくり計画」策定プロジェクト会議（庁内検討体制）において策定した公民連携による中長期的な「築港・天保山まちづくり計画」に基づき、当エリアの「暮らす」「遊ぶ」「働く」機能の魅力向上に資することを目的として、長期的なまちづくりの推進に向けた事業を実施する。 将来のまちの姿や変化を想定し、具体的な取組み期間を設定して、先導的に着手する活動・事業などを戦略的に順次展開する。	エリアの魅力・価値の向上に向け、多言語対応エリアマップ作成などを実施。また、平成29年度に策定の築港・天保山まちづくり計画を踏まえて公民連携の手法などにより具体的な施策を推進していく。 【撤退基準】 具体施策の実施状況から、まちの魅力向上やにぎわいづくりに効果が期待できないと判断した場合には事業を再構築する。
		前年度までの実績

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 5-4 【まちづくりに向けた行政資産等の活用】

計画	めざす状態<概ね3~5年間で念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	・まちづくりに活用できる資源や資産について、区民の意見も踏まえ、そのストックやまちづくりの方向性に見合った有効な活用計画が策定されている。 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ○各々の資源・資産の具体的な活用策について「区民の意見が反映されている」と答えた区民の割合 28年度:9.5% → 31年度:60%以上	・これからのまちづくりの方向性を踏まえ、市岡商業高校跡地、尻無川周辺水辺空間など、区内の遊休地や資産の活用について、関係局と連携して活性化策の検討を進める。
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体
	戦略の進捗状況	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない a:順調 b:順調でない

具体的取組5-4-1 【弁天町駅前土地区画整理記念事業に係る検討】

		28決算額	- 円	29予算額	- 円	30予算額	58,000千円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)					
	弁天町駅前土地区画整理記念事業の記念施設として、広く区民に役立ち、今後のまちづくりに貢献する公共施設「(仮称)区画整理記念・交流会館」の整備に伴う基本設計及び実施設計を行う。また、事業の進捗について区民への周知を行う。	「(仮称)区画整理記念・交流会館」の基本設計の完了及び実施設計への着手。 【撤退基準】 基本設計が完了しなかった場合は再構築する。 前年度までの実績 26年度:「弁天町駅前土地区画整理記念事業計画」を決定 27年度:「弁天町駅前土地区画整理記念事業検討ワーキング」を開催(仮称)区画整理記念・交流会館の基本構想を策定 28年度:「土地区画整理記・交流会館事業プロジェクト」会議を開催(基本構想を広く周知する為、概略を広報紙に掲載(8月号、10月号、12月号、2月号)) 29年度:「(仮称)区画整理記念・交流会館」内の民間等附帯施設の運営事業予定者の募集・選定を実施し、予約契約を締結					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組5-4-2 【八幡屋公園の利活用】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	国際レベルの施設である中央体育館や大阪プールを擁し、市民のスポーツや健康づくりに貢献する八幡屋公園について、広くPRすることによって様々な世代の利用を促進するとともに、まちづくりの資産として活用する。 八幡屋公園（体育館・プールを含む）で開催するイベント等の回数：3回以上	八幡屋公園で開催されるイベント・行事等の発信：3回以上 八幡屋公園でのイベント等の参加者：300人以上/回 【撤退基準】 参加者数が200人を下回った場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 29年度：区民まつり、みなとピクニック、サイエンスカフェ、水遊びしチャオ等のイベント等を開催

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組5-4-3 【市岡商業高校跡地などの有効活用】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	市岡商業高校跡地などのまちの資源、資産について、地域の声を踏まえて、今後のまちづくりの観点から有効な活用策を検討する。	関係局との調整を図りながら、まちづくりの観点から有効な活用策について、地域の声を踏まえて方向性を決定する。 【撤退基準】 活用策の方向性を決定できない場合は再検討する。 前年度までの実績 26年度：市岡商業高校跡地について、大学の設置等を条件にした売却を決定したが、申込がなかった。 27年度以降、有効な活用策について関係局との協議・検討を継続

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)